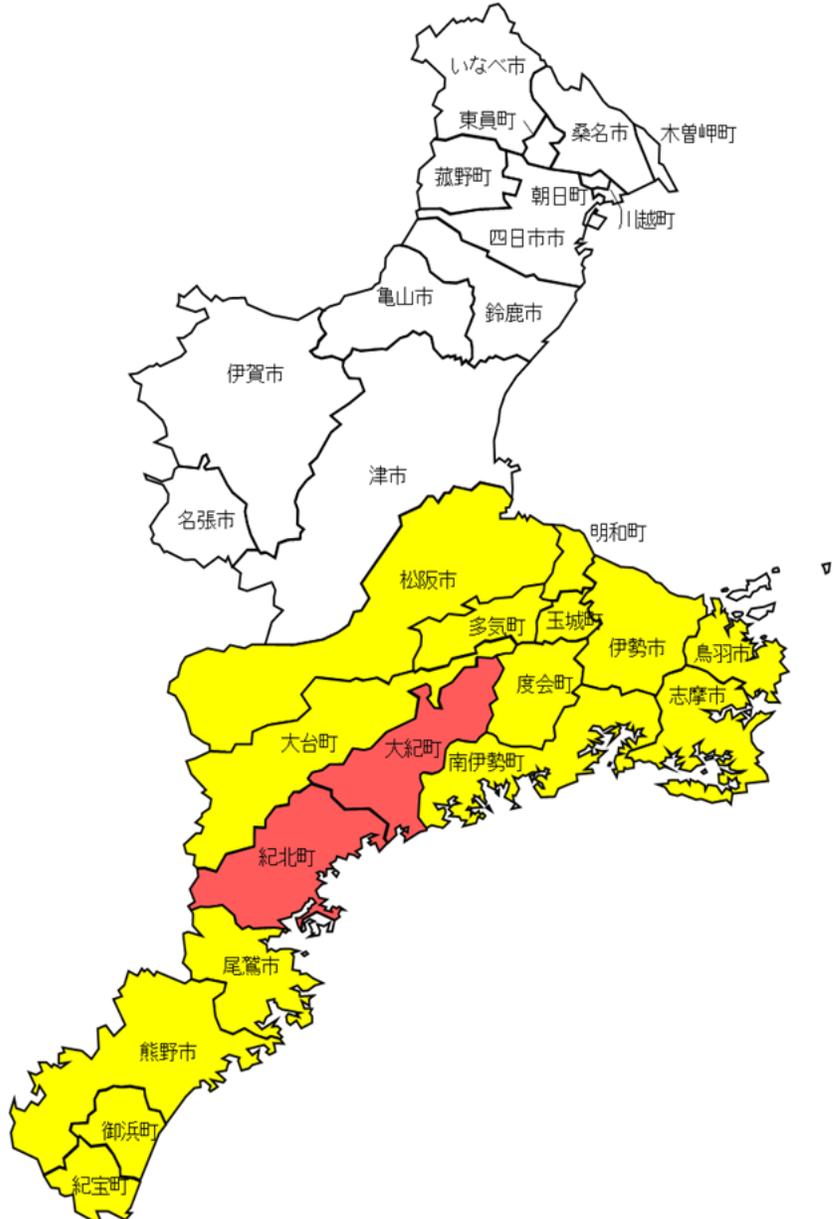


ツキノワグマ出没に関する注意喚起について



出没状況

※4月～8月の全ての月で昨年を大幅に上回る状況
昨年度の出没件数 40件

○令和6年度 **93件** 9月9日時点

警報

○発表市町:大紀町、紀北町(人身被害発生)

○期間:8/15～10/14

注意報

○発表地域:松阪以南の農林水産事務所管内
(出没件数が過去5年間の平均値の2倍超)

○期間:松阪事務所管内 8/18～10/17

伊勢事務所管内 8/23～10/22

尾鷲事務所管内 8/18～10/17

熊野事務所管内 8/16～10/15

8月14日に大紀町で発生した人身被害の状況調査

○事故の状況(被害者へのヒアリング結果)

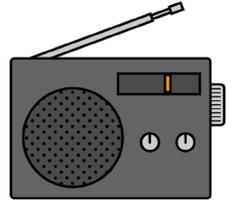
- ・登山は1人で行っており、クマ鈴はつけていなかった
- ・峠を下山中で集落に近い町道上を歩いていたため、杖で音を鳴らすこともしていなかった
- ・カーブを曲がった先でクマとバツタリ遭遇
- ・驚いて一瞬背を向けて、振り返ったところクマがこちらへ向かってきた

クマも人も存在に気付かず、バツタリ遭遇した際に被害が発生

クマからの被害を防ぐために

ポイント1 クマとバッタリ遭遇することを避ける(最優先)

- 音(鈴・ラジオ)や声で自分の存在をアピール
- できるだけ複数人で行動
- 見通しの悪い場所には不用意に入らない



ポイント2 それでも・・・クマに出会ってしまったら

- 大きな声を出さない、背中を見せない、走って逃げない
- 目を合わせたまま、ゆっくりと後退し、その場を離れる
(落ち着いて行動)



ポイント3 万が一・・・攻撃を受けそうになったら

- 首の後ろで両手を組んで、うつ伏せになり防御姿勢を
- クマスプレー(強力なトウガラシスプレー)を噴射



令和6年夏休み期間の観光入込客数

令和5年比：100.02%
令和元年比：83.2%



※過去の調査と比較可能な21施設における1日あたりの入込客数との比較

県内主要観光施設(24施設)
の観光入込客数(延数)

556万7千人

【調査期間】

7月13日(土)~9月1日(日)
(51日間)



令和6年お盆を中心とした
期間(8/11~15)の
観光入込客数

15施設

令和5年比：152.9%
令和元年比：101.9%